

中小企業地域資源
活用促進法に基づく

資料②



わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

ふるさと名物
Furusato Meibutsu



山梨県甲州市
が応援するふるさと名物

甲州ワイン～日本固有のブドウ
「甲州種」の可能性を広げる

- ◎甲州ワイン
- ◎ワインツーリズム

ふるさと名物を育む背景

1

甲州ワインを 育む風土



土屋龍蔵 高野正誠

◆日本のワイン発祥の地

甲府盆地の東部に位置する本市は自然・立地条件に恵まれ、古くから果樹栽培が盛んに行われています。内陸で盆地特有の気候に恵まれ、日照時間の長さや併せて、降水量が少なく、昼と夜との気温の較差が大きいことなどからブドウ栽培に適した条件を持っています。

更に大菩薩嶺、御坂山地から流れ出る河川の扇状地に広がる樹園地は山裾から広がり、独特のローカルデザインを描いています。

本市は、日本のワイン産業発祥の地であり、明治10年(1877年)勝沼に日本最初の民間の醸造会社が誕生しました。この会社の二人の青年がフランスに渡り、本場のブドウ栽培とワイン醸造を日本に持ち帰ったことにより、山梨県のワイン産業は発展を遂げました。

その後も大手メーカーの技術公開や海外との技術交流などを通して、高い醸造技術の習得に努め、現在山梨県内に約80あるワイナリーのうちの半数となる37社が本市に集積しており、日本屈指のワインカントリーを形成しています。

また、勝沼地域には、当時のワイン醸造所や醸造器具などを所蔵したワイン資料館、ワイン運搬など、日本のワイン産業発展の歴史を知ることが出来る遺構が多数残されており、風土の上にワイン文化と伝統が脈々と引き継がれています。

ワインづくりは地域に根ざしたものではければなりません。原料ブドウ栽培という直接的な部分だけでなく、景観や歴史といった地域の力がワインの魅力を高めています。



雄大に広がる「勝沼ぶどう郷」

ふるさと名物の内容

1

ふるさと名物
甲州ワイン

◆日本固有という個性「甲州ワイン」

山梨の土地を表すブドウは古い山梨の地名でもある「甲州種」。歴史的量的にも日本の代表品種であり、本市はもとより山梨のワイン文化を象徴する存在です。

海外のワイン生産国では産地固有の品種は大切にされています。甲州種はそういう産地固有の品種に位置付けてしかるべきもの。長い歴史に裏付けされた固有性こそがこのブドウの付加価値を高めています。



2

ワイン産地を
五感で味わう

◆ワインツーリズム

2008年から市民とワイナリーがタッグを組み、ブドウ産地の魅力を五感で味わう「ワインツーリズム」を実施しています。

ワインづくりの過程に触れて、土地の風土や文化までを感じることでできるワインの里巡りは、「ワインツーリズム」と呼びワイン愛好家にとっては知的満足度の高いイベントとして今では広く定着しています。

本市はブドウ・ワインに纏わる数多くの地域資源を有しており、ワインツーリズム最大の魅了は、そうした地域資源を最大限活用しているところにあります。



3

海外への販売
促進

◆ロンドンでプロモーション活動を展開

甲州市のワインメーカーを中心に構成する「KOSHU OF JAPAN」では2010年から、甲州種を用いたワインをEUのワイン基準に合わせて醸造し、ヨーロッパやアジアに向けた輸出を進めています。

世界最大のワインマーケットである英国で、世界各国でブームとなっている日本食との組み合わせ等によるプロモーション活動を重ねてきました。現在では、世界のトップワインジャーナリストからも甲州種の持つ特性が高く評価されています。また、国外で評価されることで、甲州ワインの持つ価値が国内でも再認識され、消費の拡大に繋がっています。

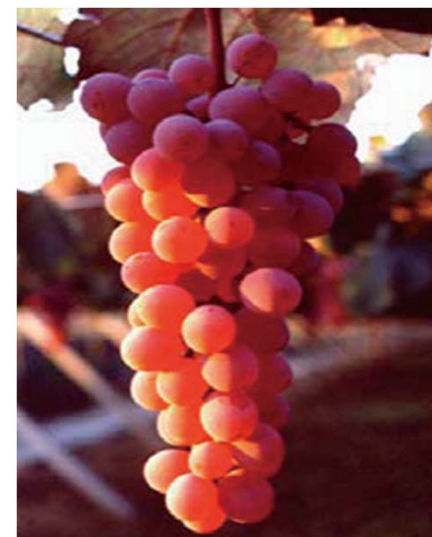
市の取り組み

1

契約栽培奨励

◆甲州種ブドウの安定生産に向けた取り組み

甲州ワインは和食に合うワインとしてグローバルな視点で認知されその評価は高まりを見せています。しかしながらその一方で、肝心の原料ブドウ栽培の実態は、収益性の高いブドウへのシフト等を理由に減少し続け、生産基盤は脆弱しています。市では、安定生産を視野に入れた「契約栽培」を推進する甲州種ブドウの栽培奨励制度と併せ同種の苗木供給対策事業を市内ワイナリーと共同により展開し、生産基盤の一助とすべく強化に努めています。



2

甲州ワインで
乾杯

◆甲州ワイン乾杯条例の制定

ワインは本来生まれた土地で消費されていくことが自然な姿です。酒文化は強要して創り上げていくことではありませんが、ワイン生産が重要な産業となっている本市では、地場の人間がワインに親しみをもち、地の酒としての位置付けを図ることが大切になってきます。

平成26年度には、「甲州ワインによる乾杯の推進等普及促進に関する条例」いわゆる「甲州ワイン乾杯条例」を制定し、ワインを通して人と人との円滑な繋がりを大切にした文化醸成を目指した取り組みを強化しています。

3

風土を活かした
ワイン造り

◆原産地呼称ワイン認証制度

そのワインに表示されている地域名でブドウ栽培からワイン醸造、ビン詰めまで確実に行われたことを保証する制度。

ワインの原料となるブドウについてのトレーサビリティを徹底させ、産地の整合性をとってワインを認証していくシステム。畑と生産者の顔が見えるワインの産出を目指しています。



甲州市産原料自社醸造ワイン



山梨県産原料甲州市自社醸造ワイン